

平成20年度 第3回 泡瀬地区環境利用学習推進連絡会を、平成21年3月5日（木）に沖縄市役所にて行いました。

<出席者名簿>

平成20年度 泡瀬地区環境利用学習推進連絡会名簿

区分	名称・氏名	備考
専門家	エコ・ビジョン沖縄 藤井晴彦	
専門家	海の自然史研究所、琉球大学非常勤 藤田喜久	
専門家	沖縄国際大学 武田富美子	
団体	泡瀬復興期成会	
団体	社団法人沖縄県建築士会沖縄市支部	
団体	沖縄こども未来ゾーン運営財団	
行政	中城湾港出張所	
行政	中城湾港建設事務所	
行政	沖縄市環境課	
行政	沖縄市教育研究所	
行政	沖縄市立博物館	
行政	沖縄市東部海浜開発局 計画調整課	

泡瀬地区環境利用学習推進連絡会会則

（総則）

第1条 本連絡会は、泡瀬地区環境利用学習推進連絡会と称する。

（目的）

第2条 泡瀬地区における環境学習を継続・発展させるために、関係する機関・団体等で定期的な会議を持ち、情報や人材等の相互提供できるような連携体制を築くことを目的とする。

（構成）

第3条 本連絡会は、基本的に泡瀬地区における環境利用学習に関係する別表に掲げる機関・団体等で構成する。

2 本連絡会を構成する専門家や機関・団体等は、必要に応じて承認を得て追加できるものとする。

（活動内容）

第4条 本連絡会の目的を達成させるために次のことを行う。

- （1）環境利用学習の啓発及び実践促進
- （2）環境利用学習プログラムの利用促進
- （3）環境利用学習運営の検討
- （4）その他本会の目的達成に必要な事項

（会議及び運営）

第5条 会議は、必要に応じて開催するものとする。

2 会議の進行役は、沖縄市東部海浜開発局計画調整課長とする。

3 計画調整課長は、会議を招集するものとする。

4 沖縄市東部海浜開発局計画調整課は本連絡会の専門家や機関・団体等と連携して、本連絡会の運営を行う。

附 則

この会則は、平成17年8月5日から施行する。

会次第

日時：平成21年 3月 5日（木）13：00～

場所：沖縄市役所建設部5階会議室

- (1) 開会
- (2) 前回のまとめ
- (3) 教材集への意見だし
- (4) 来年度の活動予定
- (5) その他

閉会

配布資料：

会次第(本紙)

泡瀬地区環境利用学習推進連絡会委員名簿

平成19年度泡瀬干潟を利用した環境学習教材集

○概要

教材集への意見だし

- ・自然が大事、自然が大事といわれているが小中学校で沖縄の自然に取り組んでいるところはほとんどない。取り組むための教材がない。たたき台が必要である。
- ・自然についてしっかり取り組むことは重要だ。
- ・自然向けに作成した委託事業の教材集はよく出来ていると思うので今後これを広めて行く工夫を考えるべきである。
- ・資料集が充実する一方でそれを使える人間が増えないといけない。経験者を増やす工夫を考える必要がある。
- ・研修など強制性があることに干潟の環境教育を組み込んでいくことで参加者も重要と認識すると思う。

来年度の活動予定

匠の家の活用を考えること

タルガー作りの具体化

社会環境の教材化、

委託事業での社会環境の取り組み